



PLUS+アンカー

本町六丁目の古民家を改装し、平成26年（2014）11月にカフェとコミュニティスペースとしてオープンした「PLUS+（プラス）アンカー」は、レンタルスペースや様々なイベントを通じて人々が集う交流の場として地域に定着している。

ベースとなる古民家は、2階建て部分が築85年、平屋部分が築55年。元々は角田染工場として染色業を営んでいたが、事業を辞めた後は現家屋主である角田晃嗣さんの私宅として使用されてきた。ライフワークとして精力的にまちづくりに取り組む角田さんは、「長年住み慣れた自宅をまちのために活かしたい」と再活用の方法を模索したが、決定的な良案は見つけることができず、一時は解体を決断するまでだったという。そんな中、角田さんを救ったのは、数々の古民家リノベーションを手掛ける不動産業の株式会社アンカー・川口貴志社長だった。両氏の「まちなかに人が集い、個人が輝ける場を創りたい」という想いが共鳴し、構想から約2年、角田邸にPLUS+アンカーとして新しい命が吹き込まれた。

店内に広がる日本家屋独特の雰囲気は、初めて訪れた人にも“懐かしさ”を与え、美しい庭園と共に日本人の琴線に触れる極上の癒し空間。レンタルスペースでは、料理やフラワーアレンジメント教室、セミナー、写真展、各種パーティなど多種多様に活用され、人々が集い輝きを放つ場となっている。また、年2回開催される「アンカー・マルシェ」にはたくさんの老若男女が訪れ、近隣住民も「昔に戻ったようだ」とその賑わいを好意的に受け入れている。

染物屋時代から大勢の職人や女工さんが行き交い、豊かな人のつながりを育んだ角田邸。その本質はPLUS+アンカーに引き継がれ、まちなか交流の拠点として、ここから生まれる新たな出会いが、桐生のまちにプラスを届ける。



まちに“プラス”を届ける
古民家活かすまちなか交流の拠点

●場所／桐生市本町6-382

●営業／火曜～土曜日 11:00～19:00

●HP／<http://anchor-plus.com/>

●電話／080-1152-0083

●定休日／日・月・祝日